

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。6月に「2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」を公表した（詳細は2019年8月号参照）。

2018砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

【砂糖】

総消費量：190万7000トン（前回見通しから1万1000トン減）

総供給量：188万9000トン（同9000トン増）

【加糖調製品】

消費量および供給量：53万6000トン（同3000トン減）

【異性化糖】

消費量および供給量：83万5000トン（同2000トン減）

表1 2018砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				合 計	
			10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,861	495.5	419.8	478.6	476.0	1,870	
	含みつ糖	36	6.6	11.1	11.3	7.6	37	
	合 計	1,897	502.1	430.9	489.9	483.6	1,907	
供給量	国内産糖	分みつ糖	784	363.4	334.5	36.0	-	734
		含みつ糖	10	0.8	7.0	3.5	-	11
		小計	794	364.2	341.5	39.5	-	745
	輸入糖	分みつ糖	1,123	329.8	189.8	295.8	319.5	1,135
		含みつ糖	10	1.7	3.2	3.1	0.8	9
		小計	1,133	331.5	193.0	298.9	320.3	1,144
	合計	分みつ糖	1,907	693.2	524.3	331.8	319.5	1,869
		含みつ糖	20	2.5	10.2	6.6	0.8	20
		小計	1,927	695.7	534.5	338.4	320.3	1,889
	期末在庫		311	502.1	578.8	418.7	255.4	255

資料：農林水産省「2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 2018砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				合 計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	528	154.8	112.6	133.9	134.5	536
供給量	528	154.8	112.6	133.9	134.5	536

資料：農林水産省「2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」

注1：改正糖価調整法（2018年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に合わせた量が供給されるものとして見通している。

注3：2018砂糖年度の消費量は、2017砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 2018砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	2017砂糖年度 (実績)	2018砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績)	1月-3月 (実績)	4月-6月 (実績見込み)	7月-9月 (見通し)	
消費量	832	182.2	186.7	243.2	222.8	835
供給量	832	182.2	186.7	243.2	222.8	835

資料：農林水産省「2018砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回）」
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

2. 輸入動向

【粗糖の輸入動向】

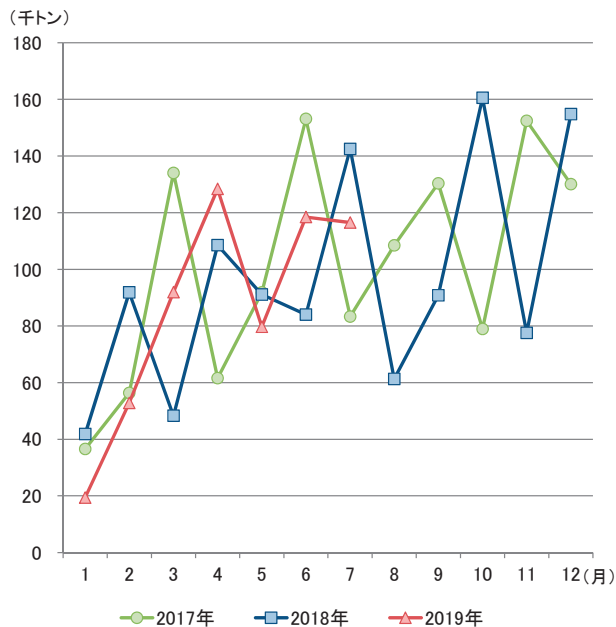
7月の輸入量は前年同月から大幅に減少

財務省「貿易統計」によると、2019年7月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、11万6504トン（前年同月比18.2%減、前月比1.7%減）であった（図1）。

輸入先国は豪州、タイおよび米国で、輸入量は次の通りであった（図2）。

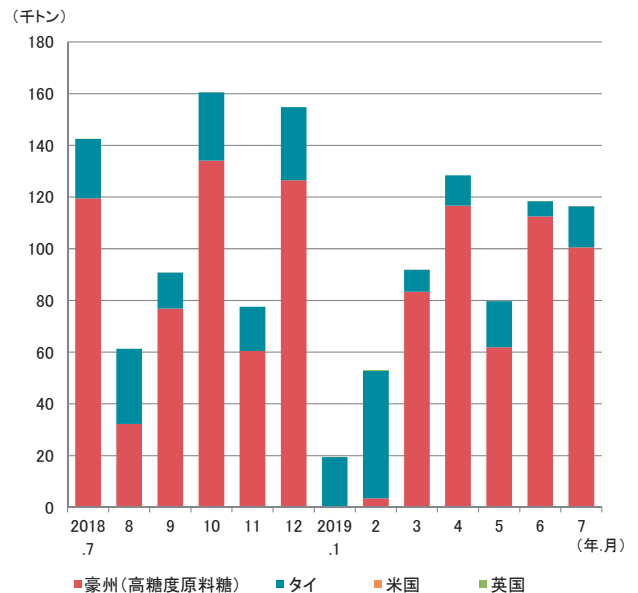
豪州 10万523トン
（前年同月比15.9%減、前月比10.6%減）
タイ 1万5962トン
（同30.5%減、同2.7倍）
米国 19トン
（前年同月輸入実績なし、前月同）

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国別輸入量の推移



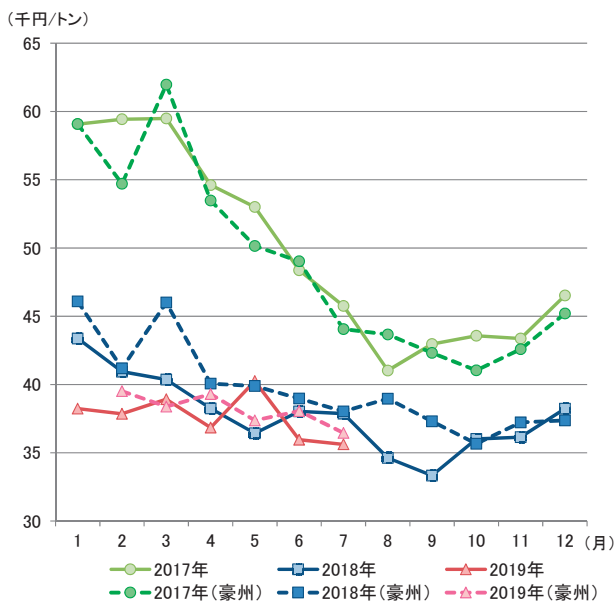
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2019年7月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、3万5610円（前年同月比6.0%安、前月比0.9%安）であった（図3）。

タイ 3万5529円
（前年同月比6.2%安、前月比0.6%安）
米国 10万3789円
（前年同月輸入実績なし、同0.1%安）

また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、3万6456円（前年同月比4.1%安、前月比4.2%安）であった。

図3 粗糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注1：実線はHSコード1701.14-110、点線は同1701.14-200（豪州のみ）。
注2：2019年1月はHSコード1701.14-200の豪州からの輸入実績なし。

【含みつ糖の輸入動向】

7月の輸入量は前年同月から大幅に増加

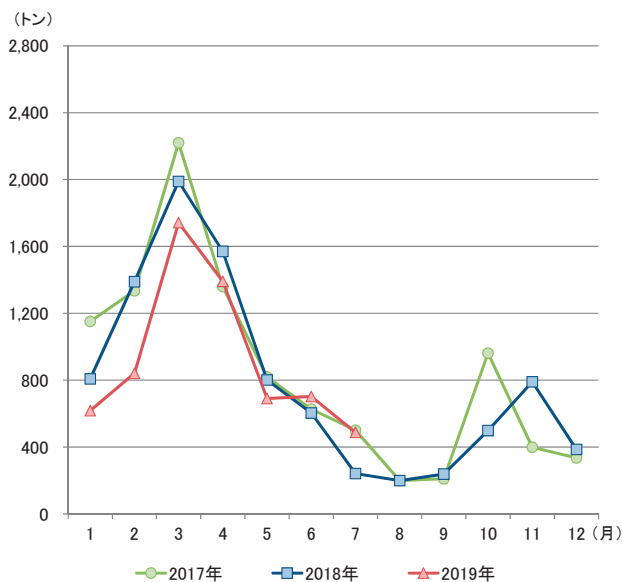
財務省「貿易統計」によると、2019年7月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、487トン（前年同月2.0倍、前月比30.6%減）であった（図4）。

輸入先国は中国、フィリピン、タイおよび台湾で、

国別の輸入量は次の通りであった（図5）。

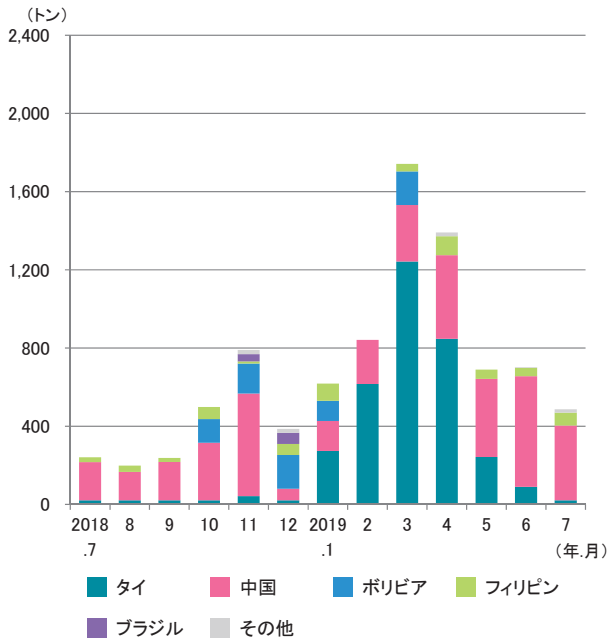
中国 383トン
（前年同月比96.4%増、前月比32.3%減）
フィリピン 65トン
（同2.6倍、同54.8%増）
タイ 21トン
（前年同月同、同76.7%減）
台湾 18トン
（前年同月輸入実績なし、同4.5倍）

図4 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図5 含みつ糖の国別輸入量の推移



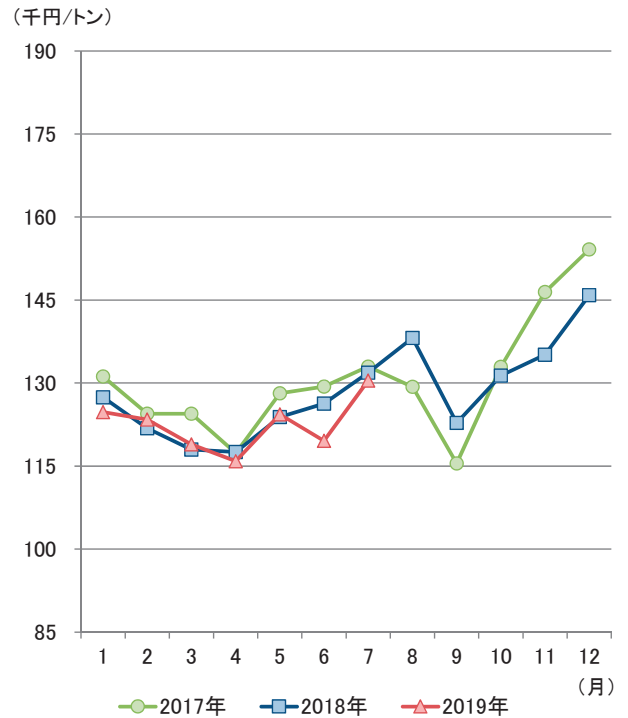
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2019年7月の1トン当たりの輸入価格は、13万468円（前年同月比1.1%安、前月比9.1%高）であった（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

中国	12万2102円
	（前年同月比2.7%安、前月比1.6%高）
フィリピン	14万9185円
	（同29.5%安、同39.1%高）
タイ	5万5714円
	（同41.9%安、同49.8%安）
台湾	32万8111円
	（前年同月輸入実績なし、同6.7%安）

図6 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

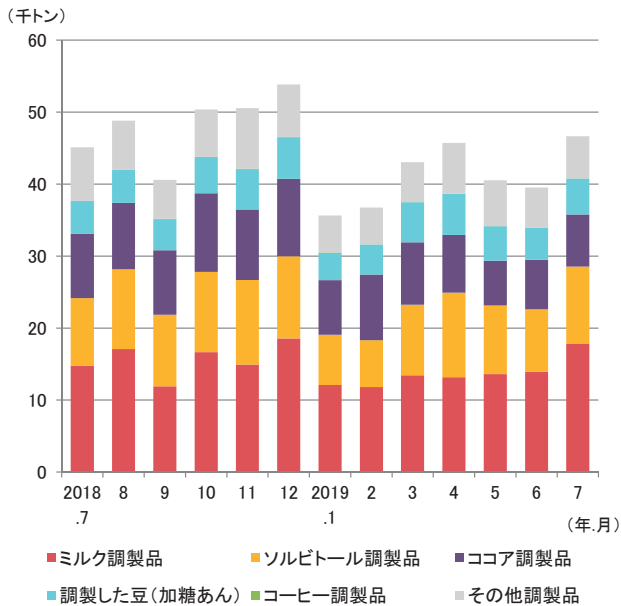
【加糖調製品の輸入動向】

7月の加糖調製品の輸入量は前年同月からやや増加

財務省「貿易統計」によると、2019年7月の加糖調製品の輸入量は、4万6635トン（前年同月比3.4%増、前月比18.0%増）であった（図7）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図7 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：各品目のHSコードは次の通り。

【2018年12月まで】

ココア調製品：1806.10-100、1806.20-111、1806.20-190、1806.32-211、1806.90-211

コーヒー調製品：2101.11-100、2101.12-110、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-190、2005.51-190

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-251、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

【2019年1月から】

ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213

コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246

調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199

ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284

ソルビトール調製品：2106.90-510

その他調製品：2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品の品目別輸入数量（7月）

区分	輸入量 (トン)	前年同月比 (%)	前月比 (%)
ミルク調製品	17,873	21.2	28.3
ソルビトール調製品	10,669	13.3	23.2
ココア調製品	7,256	▲ 18.7	5.1
調製した豆（加糖あん）	4,961	9.0	12.1
コーヒー調製品	34	56.5	▲ 9.1
その他調製品	5,842	▲ 21.6	4.9

資料：財務省「貿易統計」

3. 異性化糖の移出動向

8月の移出量は前年同月からかなり大きく減少

2019年8月の異性化糖の移出量は、7万1762トン（前年同月比11.8%減、前月比18.1%減）であった（図8）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図9）。

果糖含有率40%未満 302トン

（前年同月比23.7%減、前月比36.1%減）

同40%以上50%未満 1万7748トン

（同7.3%減、同17.2%減）

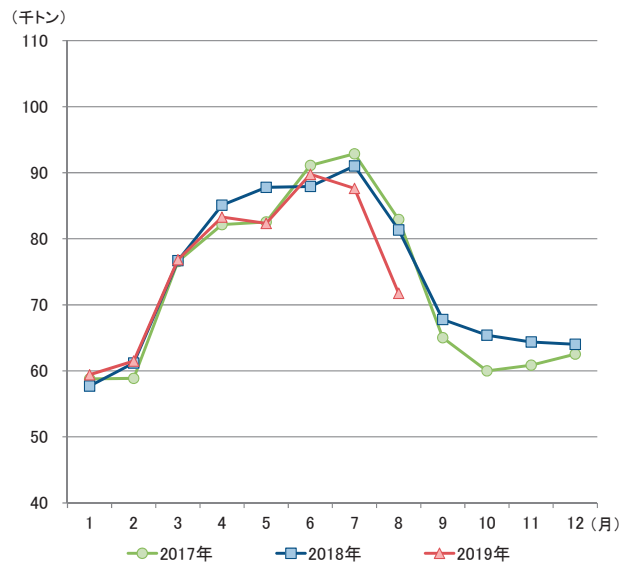
同50%以上60%未満 5万2964トン

（同12.5%減、同18.0%減）

同60%以上 747トン

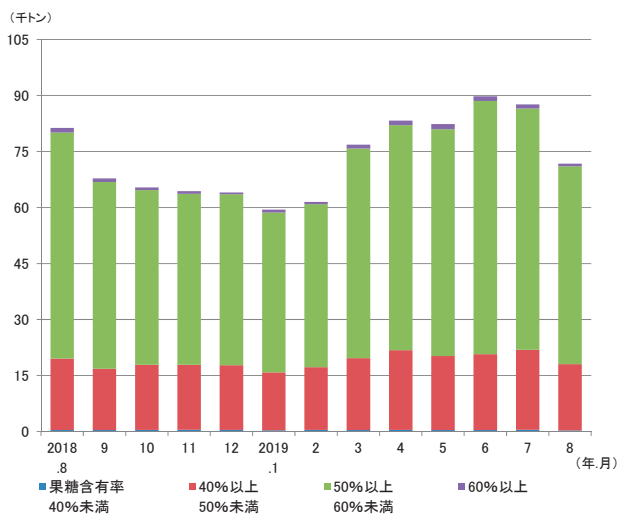
（同42.0%減、同33.0%減）

図8 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図9 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

4. 価格動向

【市場価格】

砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

8月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円

名古屋 同191円

関門 同191円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり199～202円

大阪 同202円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192～193円

大阪 同192～193円

名古屋 同196円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円

名古屋 同189円

8月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

【小売価格】

8月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で17.6円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、191.6円（前年同月差0.2円安、前月差1.6円高）であった。

同月の地域別^(注)の平均小売価格は次の通りであった（表5）。

表5 上白糖の地域別平均小売価格（8月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	200.3	▲ 0.3	0.0
東北	199.9	2.8	▲ 2.5
関東など	184.0	0.6	0.8
首都圏	186.1	0.1	5.6
中部	183.4	1.3	0.1
関西	193.0	▲ 2.0	0.5
中国・四国	201.0	▲ 0.8	1.7
九州・沖縄	194.5	▲ 3.6	3.2
全平均	191.6	▲ 0.2	1.6

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

最も高かったのは中国・四国で、最も安かった中部との価格差は17.6円であった。

(注) 地域の内訳は次の通りである。以下、グラニュー糖および三温糖も同じである。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

8月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で72.0円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.6円（前年同月差0.2円高、前月差0.6円高）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（8月）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	204.9	5.1	0.0
東北	276.9	1.1	0.1
関東など	248.4	▲ 0.6	1.1
首都圏	254.7	4.6	1.1
中部	251.2	0.3	1.2
関西	228.8	▲ 1.3	▲ 0.1
中国・四国	252.1	▲ 1.1	0.8
九州・沖縄	216.1	▲ 11.7	0.2
全平均	243.6	0.2	0.6

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は72.0円であった。

8月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で52.6円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける8月の三温糖小袋（1キログラム）

の平均小売価格は、234.6円（前年同月差0.8円安、前月差0.7円安）であった。

同月の地域別の平均小売価格は次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（8月）

地域	平均価格	対前年同月価格差	対前月価格差
北海道	237.4	5.1	▲ 0.6
東北	261.5	4.0	▲ 0.6
関東など	242.2	▲ 3.1	0.4
首都圏	225.4	▲ 5.8	▲ 2.8
中部	229.9	1.4	▲ 0.4
関西	231.2	0.8	1.0
中国・四国	248.4	▲ 0.7	▲ 0.5
九州・沖縄	208.9	▲ 5.4	0.8
全平均	234.6	▲ 0.8	▲ 0.7

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は52.6円であった。

【購入金額および購入量】

7月の砂糖の支出金額は前年同月からやや下落

総務省「家計調査」によると、2019年7月における1世帯（2人以上）当たりの支出金額は、89円（前年同月比3.3%安、前月比39.9%安）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、405グラム（同8.6%増、同20.3%減）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖の支出額の推移

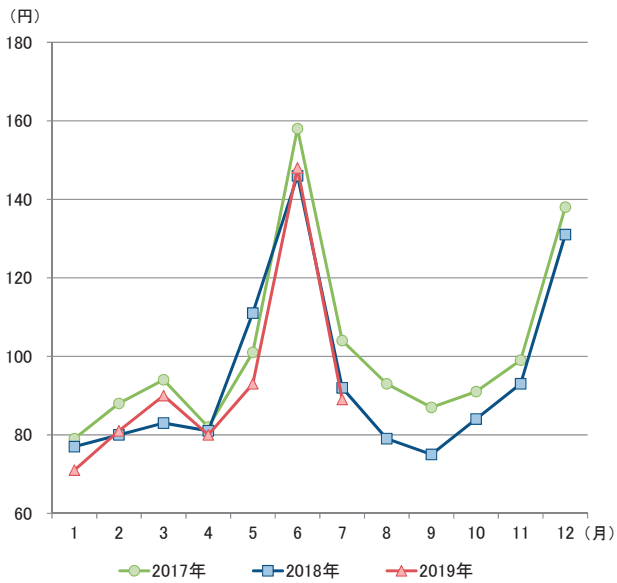


図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移

